

ユビキタス食の安全・安心システムの開発（継続）

1. 趣 旨

電子タグの普及等により、いつでも、どこでも、誰でも簡単にコンピュータが使える「ユビキタス・コンピューティング」技術が目覚ましい進歩を遂げる中、こうした最先端の技術を活用して情報の記録等の自動化・簡便化を進め、リスク管理への活用や、生産・流通の効率化、消費者に伝える各種情報の充実を図ることが可能となる「食の安全・安心システム」を開発することにより、トレーサビリティ・システムの普及を促進。

2. 事業内容

ユビキタス食の安全・安心システム開発事業

ユビキタス・コンピューティング技術を活用して情報の記録等の自動化・簡便化を進め、トレーサビリティの確保とともに、食品の安全管理等の向上や消費者が簡単に入手できる情報の充実等を図ることが可能となる先進的なシステム（「食の安全・安心システム」）を、公募方式により開発する。

〔システムの効果〕

- ① 農薬をはじめとする生産資材の適正使用の徹底等のリスク管理への活用
- ② 電子タグの活用等による生産・流通の抜本的合理化
- ③ アレルゲン情報等消費者へ提供する食品に関する情報の充実
- ④ 消費者からの情報の生産者等へのフィードバック

3. 事業実施主体

民間団体

4. 補助率

定額

5. 事業実施期間

平成17年度～19年度

6. 平成18年度概算決定額

1, 200 (1, 200) 百万円

【担当課：消費・安全局 消費・安全政策課】